

岡本眸の春の句

巻き固きレタスほぐして夕長し
更けて書く鉛筆くさき春厨
土手の上の人の大きく彼岸過ぐ
人懐ふ暇出来て花種を蒔く
烏雲に見えねば思ふことばかり

松岡隆子 抽